

みんなで育てる「たいしの子」vol.16

幼小中一貫教育だより

太子町幼小中一貫教育地域フォーラムを行います！ 太子探究「Exploring our Taishi」持続可能な未来の太子町を考える

今回の地域フォーラムでは小学生と中学生の発表と今後の町の教育について考える講演会を予定しています。ぜひ、ご参加ください。

【と き】 11月15日(金) 午後1時50分～4時40分

※受け付けは、午後1時30分～。

【と ころ】 町立山田小学校 体育館

【対 象】 町内在住、在勤、在学の人

【内 容】 第一部…小中学生による発表

(午後1時50分～3時20分 予定)

第二部…町の学校園の取り組み発表・講演会

(午後3時20分～4時40分 予定)

(大阪市立長原小学校 校長 市場達朗さん)

【申 込】 11月11日(月)までに、町ホームページの

申込フォームからお申込みください。

申込みは、こちらから▶



※事前申込制です。(事前に予約のない人は参加できません)

※駐車場はありません。原則、徒歩、自転車、バイクなどでお越しください。

※上靴(スリッパなど)、下靴を入れる袋をご持参ください。



第一部：コーディネーター

山本俊夫さん

ヴェリタス城星学園高等学校



第二部：講演会講師

市場達朗さん

大阪市立長原小学校 校長

「豊かな心」の育成

～チャレンジ・ひたむき・つながり～ 町立磯長小学校の取り組み

令和6年度の町立磯長小学校は、すべての学校生活で「心の力」を育むことをめざしています。特に、「自分を高める力」「自分と向き合う力」「他者とつながる力」の3つの力に焦点を当てた取り組みが行われ、児童たちが日々の生活の中で自然にこれらの力を身につけられるよう工夫しています。

異学年交流で育む「つながる力」

町立磯長小学校では、全校児童が学年の枠を超えて交流する機会を大切にしています。縦割り班の活動では、6年生をリーダーとして各学年が協力し合い、遊びや活動をつうじて「他者とつながる力」を育んでいます。特に、6年生が企画した遊びをつうじて、下級生たちはリーダーシップや協力することの大切さを学び、自分の役割を果たすことを経験しています。この取り組みは、児童たちが集団の一員として自分を位置づけ、他者と共に成長する力を養う貴重な機会となっています。



支援学級の交流活動

支援学級では、3年生との交流学习をつうじて、児童たちが互いの立場を理解し合う力を育んでいます。国語の授業で「ワニのおじいさんのたからもの」のロールプレイを行い、児童たちはお面や小道具を使ってそれぞれの立場を演じることで、他者の気持ちを理解し、自分の考えを表現する力を身につけました。

このような交流活動をつうじて、児童たちは他者とつながり、協力する力を学んでいます。



一人ひとりの良さが輝く魅力ある学校づくり (町立中学校の取り組み) 生徒会活動～自ら考え行動する～

町立中学校の生徒会は、「一人も見捨てない居心地のよい学校」をめざし、生徒主体の活動を展開しています。学校生活の改善に向けた「町立中学校検討会議」では、生徒全員が参加し、課題を話し合う場を設けています。

「生徒会学活」では、全校生徒から集めた意見をもとに、一つの議題について全員で考える活動が行われています。この取り組みにより、生徒たちは自らの手で学校をより良くする力を身につけています。

また、「メークハート運動」では、7つの非認知能力を意識し、生徒たちが自分と向き合い成長する機会を提供しています。これにより、協力し合う姿勢が育まれています。

さらに、「生徒会ラジオ」をつうじて活動を定期的に発信し、全校生徒に情報を共有することで、一体感を生み出しています。生徒会は、親しみやすさを高めるために、マスコットキャラクターの選定にも取り組みました。今後も、生徒たちは先輩たちの取り組みを進化させ、さらにレベルアップさせ、太子中生自身の力でよりよい太子中をつくっていきます。



未来を生きる力を育む生徒主体の授業づくり ～学び続ける教職員集団をめざして～

町立中学校では、生徒が主体的に学び、未来を生き抜く力を育む授業づくりを進めています。教職員が一丸となり、学びの場を常に向上させるための取り組みを行っています。

相互授業参観の実施

各教科では、参観前、参観、参観後にわたる意見交換をつうじて、研究テーマを達成するための具体的な取り組みを共有しています。特に、生徒が主体的に学ぶための「ギミック(しかけ)」や、学びを深める「振り返り」の工夫について議論を深めています。意見交換により、互いの取り組みをさらに改善し、より効果的な授業づくりをめざします。

教科ごとに考える非認知能力の研修

非認知能力の「見える化」を目的とし、各教科でルーブリックを使った評価方法を導入・継続しています。さらに、振り返りの重要性や、非認知能力を意識することの大切さについて情報交換を行い、教職員の研修を深めています。

「子どもを主語」にして、学ぶ喜びを感じることができる授業づくりをめざし、今後も工夫を重ねていきます。

◆問合せ 教育総務課 ☎98-5533

